



# 内観療法・家族療法により 自殺企図が消失した女性の一例

駒沢こずえ 小田島早苗

小林順子 太田秀造

札幌太田病院 精神科病棟

# 症例紹介

- 症例: Y子 女性 20代後半 医療職員
- 診断: 精神病症状を伴わないうつ病エピソード
- 生育歴: 父、母、Y子、妹の4人家族

両親は不仲

幼少期から父母の虐待

X-5年に両親が離婚

現在は母と2人暮らし

# 現病歴

- 10代半ば: ダイエットを契機に過食、嘔吐  
A精神科にて神経性無食欲症と診断
- X-2年: 多量服薬からB精神科で入院治療  
しかしその後も過食・嘔吐、多量服薬を繰り返す
- X年: 多量服薬、リストカット 救急病院に3日入院  
自殺企図 総合病院に入院  
院内で薬物を盗む行為  
母の強い希望で当院入院

# 治療経過 第1期

## < 導入期 >

- 1日目：興奮強く、隔離・身体拘束を開始。  
記憶回想療法導入  
母に対する自分のテーマは拒否
- 2日目：記憶回想療法  
テーマ：身体内観(手)  
看護・介護を通じた受容的な関わり
- 4日目：身体拘束解除  
内観療法へ移行 テーマ：母に対する自分  
同時に母に対する恨み・辛みの吐き出し

# 治療経過 第2期

## < 自己受容期 >

- 5日目：保護室からの一時開放  
内観療法  
テーマ：母に対する自分を継続  
母との関係修復に意欲を見せる

氏名

●●●●●●●●

様

♂

♀

年齢

2

歳

(再度母に文を送る自分)を調べてわかったこと、気付いたこと

再度母に対して、調べたのは、本当に自分の事しか  
考えてなくて、これ以上にもしてくれたいことが多々、と  
思っていました。

思っていました。

今日、うさぎ、うさぎ、うさぎ、感謝の気持ちがいっぱい、大  
きく、ありがとうと伝えたい。

母は、代わって自分も大病を患ったにも関わらず、本当に、  
涙の涙をしてくれて、自分が受けていたことに

気付いた。妹は、母に話した。

愛情があったから、2歳に上ったとき、実際に私と向き合っ  
て、今日、自分と向き合う、今日、自分を返す機会、を  
作ってくれたんだと思う。

本当に本当に、感謝の気持ちでいっぱい、です。

ありがとう、お母さん。

集中内親で気付いたこと、これからの決意

今まで、いかに自分の事しか考えていたか、周りが  
 全然見えていたか、このことに気付いた。  
 周りについて、自分がおろ、周りの支えによって私は、生きて  
 いることに一番気付く事が出来、周りの愛情を痛感した。  
 やっと自分と周りが見えてきた。これからは自分を振り返る事が出来た。  
もう死にたくはない、絶対に自分の命を自分で  
道にしよう、様かこい、(ない)!!  
 本来命の尊さを、一番よく知っていたのに、  
 自分に置き換えてみることを今までしたことか、  
 なく、命をたいて、  
 自分の経験した事を、後ろ向きに考えず、これから自分が  
 生きていきたい。薬には、怖い思いが、強か、  
 その為には、薬は、全て「麻薬、扱」とする。それか、自分と、  
 仕事に対して、  
 今回、私は、自分の命を懸けて、命の大切さ、尊さを学習した。  
 それと、  
 この経験を生かし、  
 せめて多くの人達の力に  
 頼りたいと思うし、  
 せめて周りの御礼だと思ふ。

# 治療経過 第3期

## < 自己開示 ~ 自己確立期 >

- 9日目: 母との家族内観  
母子関係の改善・生活目標の確立
- 11日目: 隔離解除  
学習会・作業療法  
看護師による日常内観
- 15日目: 内服薬を全て中止し、退院
- その後: 退院後2年経過、就労し自立している



# 考察1

両親の不仲、父母からの虐待

慢性的な不安、空虚感

不安定な対人関係

感情の抑制が困難

連続する対人トラブル

衝動的な行動化

自殺企図、盗癖

# 考察2

## 内観療法の回復モデル

身体への  
回想療法

恨み・辛み表出

家族内観

自己受容

自己開示

自己理解・他者理解

看護者を通じた  
健全な対人交流

他者との信頼関係

行動の自己統制

自己確立